

# 愛着と誇りを心の柱に

今年度は様々な行事で地域の「保全」や「復旧」をテーマにしてきました。9月には直島を訪れ、昔ながらの民家や特有の資源を活かしてアートという形で地域の良さを残し活性化しようとしている姿を見ました。10月の修学旅行では、震災によって被害を受けた神戸の街の復興や、老朽化して崩れそうだった姫路城の修復から、そこにある郷土への強い愛着や誇りを感じとってきました。そうした経験を通して、あらためて真鍋島を歩いてみると、そこにある自然の豊かさと文化の長い歴史を感じ、「残したい」「広く知ってもらい」という思いを強くしたようです。そこで自分たちでできることを考え、八幡神社や港の草取りなどの美化活動を行いました。

そして今、かつて先輩達が島の各所に設置した竹製の看板の修復作業を行っています。生徒たちには「島に来た人が困らないように」「島のことをよく知ってもらいたい」という思いがあるようです。修復作業は思ったより手間と時間がかかるようですが、根気よく工夫しながら作業している姿をととても頼もしく感じます。



真鍋中だより

眺海

令和4年  
3月



さて、中学校にも誇るべき歴史の中で、先輩達が大切にしてきた伝統や文化がありますが、継承できなくなったものや忘れられてしまったものもたくさんあるようです。

そんな中から2学期は校歌の3・4番に注目し、季節に合わせて歌うようにしました。そして3学期始業式には「愛唱歌」を生徒達に紹介してみました。かつては月曜日に校歌を、土曜日に愛唱歌を全校で歌っていた時期もあると地域の方から伺いました。中には校歌より愛唱歌の方が好きだったとという声もあるようです。

生徒達は楽譜の音符をパソコンのアプリに打ち込み、メロディーを再生し口ずさんでみるなど興味を持ってくれたようでした。時を超え何十年も前の先輩達があの木造校舎で歌っていた情景も思い起こせたいでしょうか。地域や学校や家族への愛着と誇りは、将来たくましく生きていく上での心の支えとなります。強くしなやかな心の柱がこの真鍋島で育まれることを望んでいます。

真鍋中学校愛唱歌

作詞・作曲 久一馬太郎

一 歴史ゆかしき水島の

打ち寄す波の音静か

南山陽の瀬戸の海

みどりの島に生を受け

清く正しく育ちたる

若人集いし真鍋校

雲紫に夕月夜

漁火淡き海の辺に

親しき友と語り草

果てなき希望を夢にのせ

わが人生を意義深く

共に進まん真鍋校

君清流に水を汲み

吾は夕げの薪を取る

みだの山麓秋立ちて

紅葉色こき学舎に

文化の香りいや高く

ゆかしき学徒の真鍋校

木枯らし窓に寒けくも

咲きし平和の紅小町

共に育ちてたくましく

歩みし道はけわしくも

真理の扉おし開き

永遠に築かん真鍋校

四

三

二

一

低年齢層での新型コロナウイルスの感染が笠岡市でも心配な状況です。学校でも万全な感染防止対策に努めたいと思います。ご家庭からのご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

## 「春風も マスク外せぬ 頃なのか(コロナの禍)」

**3月の主な行事予定** 1日(火) 全校朝礼 4日(金) 給食費集金 8日(火) 合同遊び 11日(金) **卒業式**  
14・15日(月・火) 2年生キャリア学習 16日(金) 県立高校入試合格発表  
23日(水) 保護者 25日(金) 修了式・離任式  
31日(木) 離任者見送り

**4月の主な行事予定** 7日(木) 令和4年度始業式 11日(月) 入学式  
15日(金) 家庭訪問 22日(金) 授業参観・PTA総会

感染防止のため人数を制限しての式ですが、校門の見送り(11時頃)には地域の方々にも是非ご参加いただき、門出を見守っていただければ幸いです。